

抄録作成の作り方のアドバイスやポイント

第 50 回 埼玉県医学検査学会

学術部 廣瀬 良磨

抄録を書くことに困ったら、過去の様々な抄録を見てみてください。過去の抄録には参考にするべき書き方や、表現がたくさんあります。その中で素晴らしい書き方や表現を見つけたら積極的に取り入れアレンジしてみてください。

参考になりそうな抄録を見つけた方は、抄録作成に取り掛かります。演題名は簡潔で発表内容がわかり易い題名を付けます。もしも、題名にインパクトを与えたい時は、自分だったら発表を聴いてみたいと思うような題名を考えると良いと思います。

演題名が決まったら文章作成です。文章の基本は起・承・転・結です。起承転結の起は（背景・目的）、承は（対象・方法）、転は（結果）、結は（考察・結語）の様に4つに分けて構成していきます。

- ①（背景・目的）は背景を踏まえ、自分が何を明らかにしたいのか短くまとめます。
- ②（対象・方法）は対象の基準や、実際に行った検討データ、データの抽出方法、評価方法について客観的に記載します。
- ③（結果）は対象・方法に則り、得られた事実や数値のみを記載します。
- ④（考察・結語）の考察は結果から導き出した飛躍のない自分の考えと残課題、今後の展望を記述し、結語で明らかになった知見を簡潔にまとめます。

自分なりに抄録を作成したら、先輩技師や上司などに何度かチェックしてもらいます。誤字脱字は勿論のこと、アドバイスをしてくれたり、的確な表現などを教えてくれるはずで

す。

また、一般演題の本文は 26 文字×18 行×2 段＝936 文字以内です。

句読点はカンマ「,」、ピリオド「.」を使用といった注意点もあります。抄録は日本臨床衛生検査技師会総合情報システム（JAMTIS）を用いたテキスト入力方式、ファイルアップロード方式のいずれかで作成します。ファイルアップロード方式で使用する Microsoft Word ファイルは、学会ホームページからもダウンロードできます。文字数設定済みで、アップロードも簡単なのでお勧めです。

詳しくは演題募集ページをご覧ください。それでは、多数の演題の申込みを楽しみにしています。